

高浜クレーン事故 総点検の再調査を 県に反原発5団体

原発反対県民会議など県内の反原発5団体は17日、関西電力高浜原発3、4号機の再稼働



について、住民説明会を開くまで容認しないよう求める要請書を県に提出した。写真。要請書は、再稼働を認めた

大阪高裁の決定は不当で、高浜原発構内で1月に起きた大型クレーン倒壊事故を受けて関電が実施した安全管理総点検は信頼できないと主張している。その上で、県原子力安全専門委員会での総点検の再調査とその結果を県内各地で住民に説明するまで再稼働を認めないよう求めている。

県庁には5団体のメンバーら8人が訪れた。メンバーの一人は「総点検結果の内容を了承したのは早すぎる」と県の対応を批判。県原子力安全対策課の伊藤登課長は「クレーンの問題と再稼働は別だが、事業者の安全への取り組みを継続して確認していく」と話した。

(牧野将寛)